

令和4年度TCVB 第2回持続可能な観光推進勉強会
「サステナビリティを顧客にどう伝えるか」
開催について

2023年1月16日
公益財団法人東京観光財団

1) 目的

観光産業は、本格的な回復に向けて動き出し、転換点に立っています。TCVBは、昨年度策定した中期経営計画にて、これからの観光・ビジネスイベントの成長軸として「持続可能な観光」促進を掲げ、今年度より「持続可能な観光」推進事業を立ち上げました。

この度、この取組をより広く都内の観光関連事業者の皆様と連携して検討し、推進していくため、第二回目の勉強会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

* 第一回開催概要 <https://www.tcvb.or.jp/jp/news/ab3b0ffa017233c2541d6731a46da3b8.pdf>

2) 経緯

コロナ禍以前、観光は日本の重要な輸出産業として認識されつつありましたが、旅行者による混雑やマナー問題等によって、地域社会や環境に与える影響が問題視され始めていました。コロナ禍で観光需要は減少し、世界的にも、観光によるこうした悪影響に向き合い、より良い観光の実現や持続可能な地域づくりを目指す機運が高まっており、東京もその例外ではありません。具体的な取組につなげていくためには、都内の観光を担う多様な関係者の皆様と連携し、現状と課題を把握していくことが重要だと考え、この度TCVBとして勉強会を開催するに至りました。

第二回勉強会では、観光に関わる各主体が、市場のニーズにも合わせながら、どうサステナビリティを推進し、何を顧客に伝えていくべきか、ホテルの取組をベースに考えます。勉強会の最後には、観光に関わる多様な事業者・団体の皆様と一体となってこの取組を進めるために、TCVBが令和5年度にスタートを予定しているTCVB Sustainable Tourism Partnership(仮称)についてもご紹介します。※UNWTOは、「訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在および将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光」を【持続可能な観光】と定義し、世界的な取組が加速しています。<https://unwto-ap.org/why/tourism-definition/>

3) 開催日時・場所

日時：2023年2月7日(火) 10時～12時

場所：MEETING SPACE AP市ヶ谷 <https://www.tc-forum.co.jp/ap-ichigaya/access/>

4) 対象/定員

賛助会員を始めとする東京都内の観光関連事業者 50名程度

5) 参加費 無料

6) 申込／申込期限

以下のフォームより【2月3日（金）正午】までにお申し込み下さい。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScZ-PCDgVRuvp8-GChxG_JjRD1wi5keF1dWx6u-pdzp-h4iuQ/viewform（定員に達した時点で申し込みを終了させていただきます。）

※会場設営の都合上、キャンセルの際は、前日（2月6日）正午までにご一報ください。

※ご参加者の皆様には、後日、当日のご案内をお送りします。

7) 構成・内容

| | |
|-------|---|
| 10:00 | 開会挨拶（公益財団法人東京観光財団事務局長 鈴木勝） |
| 10:05 | 『サステナビリティを顧客にどう伝えるか～サクラクオリティの取組～』（30分） 講師 株式会社サクラクオリティマネジメント 代表取締役 北村剛史氏 全国の観光圏・DMO等と共にホテル・旅館等へ宿泊施設品質認証「サクラクオリティ」を提供。2022年3月、「サクラクオリティ An ESG Practice 認証基準」は、宿泊施設用の認証では国内で初めて、「持続可能な観光」に関する国際基準を策定する <u>GSTC(Global Sustainable Tourism Council)から認証を受けた。</u> 同基準の何が持続可能な観光の国際認証と認められたのか、サクラクオリティのこれまでの取組とサステナビリティを顧客に伝える上での認証の役割をグローバルな視点から解説いただく。 北村氏略歴 https://www.sakuraquality.com/management ※ご講演後10分程度の質疑応答時間を設けます。 |
| 10:45 | 5分休憩 |
| 10:50 | 『サステナビリティを顧客にどう伝えるか～帝国ホテルの取組～』（20分） 講師 株式会社帝国ホテル 総務部総務課 SDGs推進課長 平石理奈氏 帝国ホテルでは、2001年に「環境委員会」を立ち上げ、2020年からは「サステナビリティ推進委員会」として、環境配慮、リスク管理、社会貢献、ダイバーシティ等分野別に取組を進める。徹底したゴミの削減や脱プラ促進、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量も公表している。これらの取組を、どのようなコミュニケーションで顧客に伝えているのかをお話しいただく。 ※ご講演後10分程度の質疑応答時間を設けます。 |
| 11:20 | 持続可能な観光に向けたTCVB Sustainable Tourism Partnership（仮称）立ち上げについて（公益財団法人東京観光財団総務部次長兼企画調査担当課長 田所明人） |
| 11:35 | グループ懇談 |
| 12:00 | 閉会 |

※会場は12:30まで使用可能です。名刺交換等のネットワーキングにもご活用ください。

8) 主催・問い合わせ先

公益財団法人東京観光財団 総務部総務課（企画調査）山村・工藤

sanjyokaiin@tcvb.or.jp /03-5579-2680